

極端現象

—豪雨をもたらすもの—

令和4年 8月 19日 金

13:00~16:30

オンライン開催

13:00~13:20

開会挨拶・趣旨説明
—講演会の聴きどころ—

米山 邦夫 JAMSTEC 大気海洋相互作用研究センター長

13:20~13:50

春と夏のあいだに
～梅雨の雨が長続きする理由～

茂木 耕作 JAMSTEC 大気海洋相互作用研究センター 副主任研究員

13:50~14:20

集中豪雨をもたらす
線状降水帯とは

加藤 輝之 気象庁気象研究所 台風・災害気象研究部 部長

14:20~14:50

川が空に飛んでいる
～大気の川の過去・現在・未来～

趙 寧 JAMSTEC 大気海洋相互作用研究センター 研究員

14:50~15:00

休憩

15:00~15:30

台風の数値シミュレーション最前線
～気候変動から近年の事例まで～

那須野 智江 JAMSTEC 環境変動予測研究センター グループリーダー

15:30~16:00

タイフーンショット計画
～2050年、台風を脅威から恵に～

筆保 弘徳 横浜国立大学 先端科学高等研究院 台風科学技術研究センター長

近年、温暖化の影響による台風の強化や線状降水帯に伴う豪雨の頻発などが指摘され、それに伴う気象災害の激甚化が社会的な問題となっています。本講演会では、異常な状態を引き起こす極端現象の中でも、特に豪雨をもたらす現象に焦点を当て、梅雨期の豪雨や台風まつわる研究の最前線と今後の計画についてご紹介します。最新の知見に触れることで、天気予報などで流れる情報の理解につながるだけでなく、防災・減災に役立つ心構えをともに養う機会にしたいと思います。

16:00~16:25

ディスカッションコーナー

16:25~16:30

講演会のまとめ



◀◀◀オンライン配信等、詳しくはWebサイトにてご案内いたします

<https://www.jamstec.go.jp/j/pr-event/earth-env2022/>

お問い合わせ：海洋研究開発機構 研究推進部
E-mail : earth-sympo@jamstec.go.jp

